

令和 3 年  
第 4 回大仙市議会定例会

# 一 般 質 問

( 令和 3 年 1 2 月 7 日 ・ 8 日 )

大 仙 市 議 会

## 【 一 般 質 問 者 】

### ◆ 12月7日 (火)

- ① 佐藤隆盛 議員 (市民クラブ)
- ② 石塚 柏 議員 (だいせんの会)
- ③ 秩父博樹 議員 (公明党)
- ④ 安達成年 議員 (大地の会)
- ⑤ 古谷武美 議員 (だいせんの会)

### ◆ 12月8日 (水)

- ① 青柳友哉 議員 (大地の会)
- ② 金谷道男 議員 (大地の会)
- ③ 山谷喜元 議員 (大地の会)
- ④ 佐藤文子 議員 (日本共産党)
- ⑤ 挽野利恵 議員 (公明党)

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	米価下落に対する支援策について	① 基幹産業である農業重要施策の大仙市として、米価下落に対し、市独自の稲作農家支援策の考えを伺う。
2	市と大曲商工会議所の関わり方について	① 花火産業構想に対する実態をどう評価しているか。コロナ禍という一般観客、観光客のいない花火が展開されているようだが、これらに対する市の支援状況について伺う。  ② 大曲の花火の宿泊管理施設について伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月22日

大仙市議会議員 佐藤隆盛

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	大仙市の除雪対策について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 消雪組合の役割と評価について伺う。</li> <li>② 消融雪施設の新規・更新の場合は、補助金の増額が必要ではないか伺う。</li> <li>③ 消雪道路の路面の補修の箇所数は膨大になると思うが、どのように対処するのか伺う。</li> <li>④ 必要に応じて、降雪センサーの設置が必要ではないか伺う。</li> <li>⑤ 旧大曲市内の消融雪施設組合と市と話し合いの場が必要ではないか伺う。</li> </ul>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月22日

大仙市議会議員 石 塚 柏

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	少子化対策と若者支援について	<p>① 少子化の進行は、まさに危機的な状況である。この状況を市としてどのように受け止め、今後どう少子化に歯止めをかけていくのか、市当局の考えを伺う。</p> <p>② 結婚新生活支援事業について、都道府県主導型市町村連携コースは、今年度はモデル的に12都道府県で実施されている。県がこの都道府県主導型コースを実施すれば、市としての負担が2分の1から3分の1へと減り、利用者にとってもメリットが大きくなることから、県と連携し、同コースの実施を検討いただきたいがいかがか。</p> <p>③ 奨学金代理返還支援制度について、今年4月から企業が社員に代わって、日本学生支援機構に直接返済できる代理返還制度が導入され、対象者の返還部分に係る所得税が非課税になるとともに、企業の法人税についても給与として損金算入できるようになった。この代理返還制度について、地元企業への周知を図るとともに、制度導入を積極的に働き掛けていただきたいがいかがか。</p>
2	一人暮らしの高齢者の見守りについて	<p>① 一人暮らしの高齢者の見守りを目的とした「牛乳等配達事業」及び、電球の点灯情報で一人暮らしの高齢者らを見守り支援する「見守り電球」の活用の2点について提案する。利用者側が必要としているサービスを選んでいただくという前提での2点の提案だがいかがか。市当局の考えを伺う。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月25日

大仙市議会議員 秩父博樹

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	<p>農業者への支援策について</p>	<p>① 大仙市の基幹産業である農業を安定的に支える制度として大仙市農業再生協議会の経営安定対策関連の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）がありますが、この制度の良い点を拡大（農業者の負担と市の補助金）して、米価の下落・燃料高騰に影響されない仕組みを作る必要があるのではないか。市当局の考えを伺う。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月29日

大仙市議会議員 安 達 成 年

大仙市議会議長 後 藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	「大曲駅西口整備」について	① 大曲駅西口交番横の空き地を利用しての整備は可能か、伺う。 ② JRの敷地も入れての整備は可能か伺う。 ③ 駅西口整備に対しての国及び秋田県からの補助金等はあるのか伺う。
2	「大仙市の宿泊施設」について	① 修学旅行生の宿泊先の確保について伺う。 ② 花火師の宿泊先について伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月29日

大仙市議会議員 古谷武美

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	DX (デジタルトランスフォーメーション)を担当する職員として副業人材を公募してはどうか	<p>① 行政のDXを進めるに当たり、市役所内のデジタル人材を更に手厚くする必要があると考える。業務委託や業務提携等で企業やコンサルタントの力を活用するだけでなく、継続的に当市のDX推進を検討、実行するデジタルの専門家を内部に置くことも必要だ。</p> <p>全国の自治体で、副業人材の活用が進んでいる。当市でも、例えば「週1日勤務、リモートワークも可」といった条件で職員を募集すれば、専門知識や経験、人的ネットワークを持つ都市部の人材を採用することが可能と思われる。また、デジタル人材がAターンや多拠点居住する際の魅力的な複業就職先として、当市の移住定住に貢献する可能性もある。</p>
2	認定こども園・保育所等が子どもたちのマスク着用を強く推奨したり義務化したりしていないか	<p>① 新型コロナウイルス感染症対策において、厚生労働省は保育所等で子どもに一律にマスクを着用することは求めている。[参考：事務連絡 令和3年9月21日保育所等における新型コロナウイルスへの対応にかかるQ&amp;Aについて (第十一報)]</p> <p>保護者からは、「子どもを通わせている保育施設が子どもたちのマスク着用を強く推奨していたため、自分の子どもにはマスクを着用させたくなかったが、着用させざるを得なかった」との声が届いている。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月30日

大仙市議会議員 青柳友哉

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	「新しい時代の学校教育大仙ビジョンの学校規模適正化計画」について	① 学校規模適正化計画の目標年次は平成32年度（令和2年度）になっているが、目標年次を終えた今、教育委員会の計画の評価を伺う。 ② この計画にある、まだ学校規模適正化が実現していない地域について、今後どのように進めるのか。次期計画を立てて進めるべきと思うがいかがか。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月30日

大仙市議会議員 金谷道男

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	地域の元気づくりについて	<p>① 合併してから今まで、そして、活性化推進室が設置されてからこれまで、地域活性化の成果と課題について、どのような認識を持っているのか伺う。</p> <p>② 令和4年度の予算編成方針では、重点施策の推進として、地域全体の元気づくりの中で、地域拠点の機能向上をうたっているが、具体的な方策についての考えを伺う。</p>
2	成長戦略について	<p>① 「SDGs 未来都市」などに向けて取り組んでほしいが、市としての具体的な取り組みについての考えを伺う。</p> <p>② 市ではDX推進課を設置している。意気込みを大いに感じているところである。具体的に、いつまでにどのような方向を目指すのか伺う。</p>

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月30日

大仙市議会議員 山谷喜元

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	加齢性難聴者への補聴器購入助成について	① 今年度の実態調査の結果、及び推進会議や認知症部会でどのような議論や見解が出されたのか伺う。 ② 認知症対策の柱の一つとして、加齢性難聴対策に取り組むこと。そのための補聴器購入助成を実施するよう求めるが、これへの見解を伺う。
2	国民健康保険税の減免について	① 所得割、均等割、平等割の減税とともに、子ども均等割の軽減18歳年度末まで実施するよう求める。
3	学校生活支援員の人材確保と賃金改善について	① 学校生活支援員は、要支援児童生徒に対し、専門的知識を持って継続的に関わる教育者であることから、その確保と待遇について、県としての保障を求めていくべきではないか。 また、市は現状のあまりにも低すぎる報酬の改善を図るべきではないか、見解を求める。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月30日

大仙市議会議員 佐藤文子

大仙市議会議長 後藤 健 様

## 一 般 質 問 発 言 通 告 書

No.	発 言 通 告	質 問 要 旨
1	子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）の定期接種について	① 今年度より個別通知が再開されたが、対象者の年齢とその人数、接種した人数を伺う。 ② 積極的勧奨が再開された場合の本市での情報提供について、どのような方法で、どの時期に予定しているのか。 ③ 今後、定期接種対象年齢以外への救済制度が導入された場合の本市での情報提供の方法について、どのような周知を予定しているのか。
2	子育て世帯への臨時特別給付金事業について	① 10万円相当の給付のうち残り5万円分は、子育て関連のクーポン券を配布とされており、そのコストが問題視されている。自治体の実情に応じて現金給付も可能であるが、当市においてはどのように給付するのか。
3	通学用自転車用ヘルメットについて	① 耐用年数を過ぎたヘルメットの着用状況について伺う。 ② ヘルメットの購入制度の拡充について伺う。

答弁を求めるもの

市長ほか

上記のとおり通告いたします。

令和3年11月30日

大仙市議会議員 挽野利恵

大仙市議会議長 後藤 健 様